

2 環境共生生活都市圏

丹沢から相模川や境川、引地川、金目川の流域を一体としてとらえた、津久井から県央、湘南を含む県中央部の地域

■ 地域政策圏形成の基本的方向

神奈川における東西交流・南北交流の結節地域として、みどりの中で産業と調和する生活都市をめざし、広域的な交通機能の整備を踏まえた生活環境や生産環境の整備を進めます。

県央・湘南地区では、良好な自然環境の保全を図りつつ、交通拠点の整備など、生活環境や生産環境を高めるとともに、業務核都市の機能強化にも配慮した土地利用を進めます。

津久井地区では、豊かな自然環境を保全しつつ、都市基盤を整備し、文化や産業の振興などによる地域主体のまちづくりと地域の活性化につながる土地利用を進めます。



※ ○はおおよその対象地域を示したものです。

- ① 県央・湘南都市圏の整備
- ② 水源地域の総合保全整備

- ③ 都市緑化ベルトの整備
- ④ 相模湾沿岸地域の保全・創造

■ 各地区の施策の方向

IV 津久井地区

森と湖の都 人と自然と産業が共生するまち・津久井

【施策の方向】

- 1 水源地の豊かな自然を守り活用した魅力ある地域づくり
- 2 都市との交流による魅力ある産業づくり
- 3 地域に活力を与える道路などの基盤整備

V 県央地区

うるおいと活力にあふれる快適環境都市圏・県央

【施策の方向】

- 1 自然と共生するうるおいのあるまちづくり
- 2 安心して快適にらせるまちづくり
- 3 産業の創出・活性化と地域振興によるまちづくり

VI 湘南地区

地域力がいきづく躍動都市圏・湘南

【施策の方向】

- 1 湘南の海、大地、風と共生する都市圏の整備
- 2 湘南の暮らしと文化を支える交通ネットワークの形成と拠点整備
- 3 湘南の地域力を活用した産業の振興

■ 広域的な取組みの方向

○南北・東西の交通ネットワークの形成と都市連携

■交通の要衝地として交通基盤を整備し、都市間相互の連携を図るなど①**県央・湘南都市圏の整備**を図ります。津久井地区と相模原方面を結ぶ道路の整備を進めるとともに、JR相模線沿線の活性化を図り同線の利用を促進することでJR相模線の複線化など交通の利便性向上を図ります。

○川・山・みどり・海岸の自然の連なりを生かした保全と活用

■神奈川の水源地域の森林を守り育てるとともに、相模川流域環境保全行動などにより水源地域の環境に対する負荷の低減を図り、良好な水環境の創造に取り組み、②**水源地域の総合保全整備**を進めます。

■相模川流域などの貴重なみどりの保全と、積極的なみどりの創造に取り組み、③**都市緑化ベルトの整備**を図ります。

■浜辺のみどりなどの豊かな自然環境や近代の保養所・別荘の立地などの歴史・文化、特筆すべき景観など相模湾沿岸の地域資源を守り、生かし、発信するための地域づくりを県民と行政が協働・連携して進めていくことで④**相模湾沿岸地域の保全・創造**を図ります。また、海岸のつながりを生かし鎌倉を含めた湘南の観光を振興します。